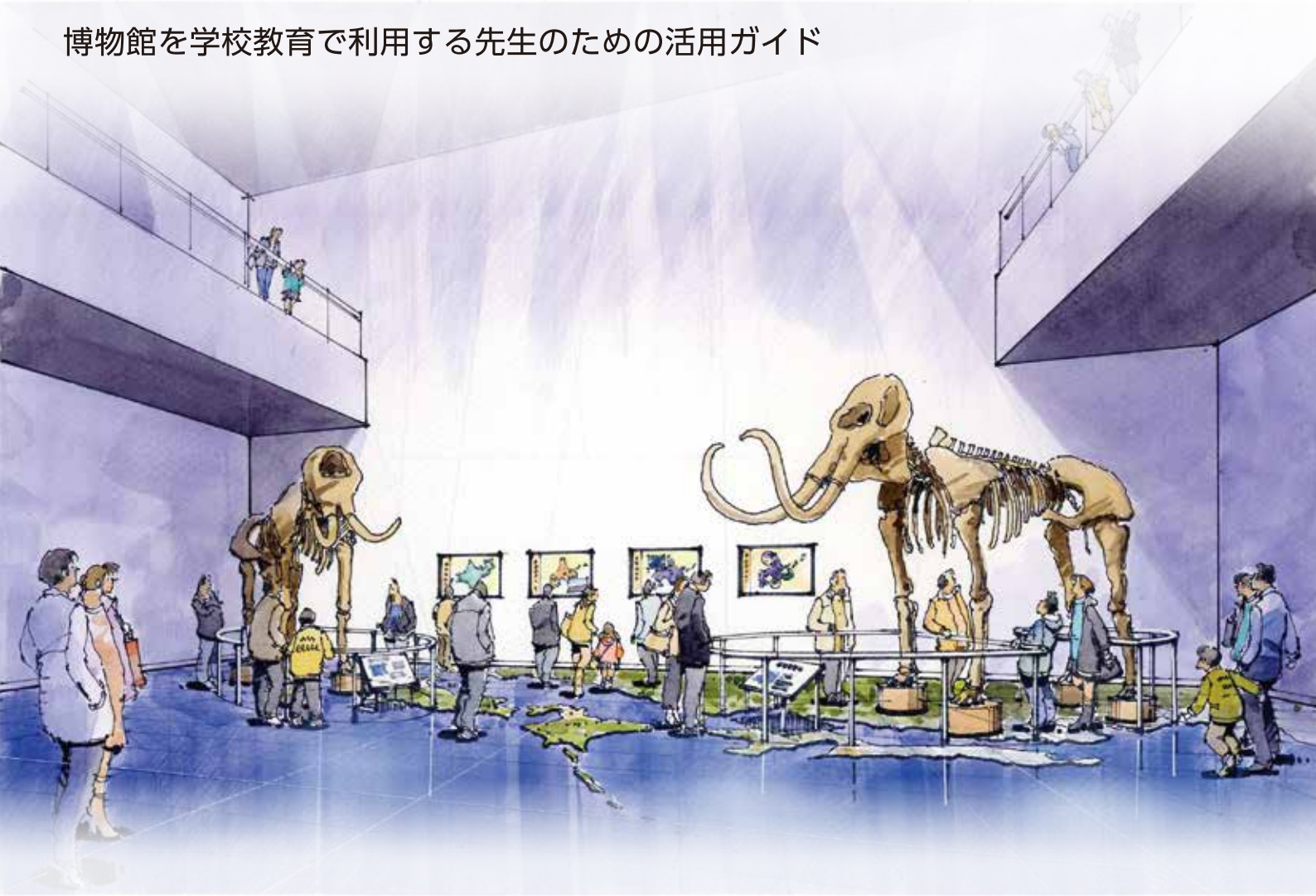
北海道博物館
HOKKAIDO MUSEUM

北海道博物館
学校利用ガイド

令和２年度

博物館を学校教育で利用する先生のための活用ガイド



北海道博物館は
北海道立の総合博物館です

北海道博物館ってどんなところ？

博物館を学校教育で利用したいけど、どうすればよいの？

このガイドでは、遠足、社会科見学（現地学習）、修学旅行などで
学校団体が北海道博物館をご利用いただく際に必要な情報をまとめました。
ご不明な点がございましたら、お気軽に011-898-0500へお問い合わせください。

目次

1　北海道博物館の概要 ……2
2　総合展示室における学習活動 ……4
3　より深く学ぶための教育プログラム …6
　A　はっけんプログラム ……6
　B　グループレクチャー ……7
4　北海道博物館を利用した学習の流れ …8
見学届 ……12

1 北海道博物館の概要

北海道博物館とは

北海道博物館（愛称：森のちゃれんが）は、北海道の自然・歴史・文化を紹介する北海道立の総合博物館です。自然環境と人とのかかわりや、アイヌ民族の文化、本州から渡ってきた移住者のくらしなどを調査・研究し、北海道民の貴重な宝である資料を収集・保存し、展示や教育、イベント・事業などを行っています。

どこにあるの？

札幌市の中心部から東へ約10kmにある自然豊かな野幌森林公園のなかにあります。札幌市厚別区にあり、JR新札幌駅（地下鉄新さっぽろ駅）からバスで約15分で到着します。

北海道博物館の利用案内

開館時間
- 9:30 ～ 17:00（5 – 9月）
- 9:30 ～ 16:30（10 – 4月）
- ※閉館時間の30分前までにお入りください

休館日
- 毎週月曜日（祝日・振替休日の場合は直後の平日）
- 年末年始（12月29日～ 1月3日）
- 臨時休館（12月17日・18日）

交通案内

●バス
- 新札幌駅から　バスターミナル・のりば⑩（北レーン）
  - ジェイ・アール北海道バス　新22「開拓の村」行きに乗車し、「北海道博物館」で下車
- 森林公園駅から　東口のりば
  - 新札幌駅からの上記のバスが森林公園駅に寄ります
  - ※北海道博物館まで徒歩20 ～ 25分かかります
- 大麻・江別方面から
  - ジェイ・アール北海道バス・夕鉄バス新札幌方面行きに乗車し、「厚別東小学校前」で下車（バス停から徒歩15分）

●タクシー
- 新札幌駅から約10分

料金（総合展示室）
- 一般600（500）円、大学生・高校生300（200）円
- ※（　）内は10名以上の団体料金
- ※特別展は別料金がかかります。
- ※障害のある方は無料。入館の際に障害者手帳などをご提示ください。
- ※中学生以下、65歳以上の方は無料。入館の際に年齢のわかるもの（生徒手帳、健康保険証、運転免許証など）をご提示ください。
- ※高校生の団体料金については、P.8をご覧ください。

［お問い合わせ先・ご予約・ご連絡先］

北海道博物館　学芸部道民サービスグループ

〒004-0006　札幌市厚別区厚別町小野幌53-2

電話／**011-898-0500**
（学校団体受付、9:30～17:00）

FAX／**011-898-0590**
（学校団体受付・見学届送信専用）

Twitter／@Hokkaido_Museum

北海道博物館
ホームページ

どんなことができるの？

① 総合展示室を見学して学ぶ

〈総合展示室〉を見学することで、北海道の歴史、アイヌ文化、北海道らしさの秘密、北海道の生き物など、自然・歴史・文化を、展示物を見ながら学習することができます。

⇒4ページへ

② 体験して学ぶ

〈はっけん広場〉で行う学習プログラム（はっけんプログラム）を利用すると、「じっくり観察する」「ホンモノにふれる」「道具を使う」といった体験ができます。

⇒6ページへ

③ 学芸員のレクチャーを聞いて学ぶ

北海道博物館には専門の研究スタッフ（学芸員）がいます。講堂で学芸員の話（グループレクチャー）を聞いてから、展示を見ると、展示をより深く理解することができます。

⇒7ページへ

どんなふうに利用されているの？

北海道博物館は、年間300校ほどの学校団体にご利用いただいています。札幌市や近隣市町村、道内各地のみならず、本州からもお越しいただいており、それぞれの目的に合わせてご利用いただいています。

主な利用状況

小学校	中学校・高校
○社会科見学（中学年） 「むかしの道具とくらし」、「アイヌ民族」の学習で利用されています。 ○宿泊・修学旅行（高学年） 「縄文文化」の学習を中心に利用されています。	○宿泊・修学旅行 北海道の自然・歴史・文化についての全体的な学習で利用されています。 ○その他 総合的な学習の時間、キャリア教育などの一環で利用されています。

博物館における学校団体受け入れの実態 ――なぜ学校団体が博物館を利用するの？

1989（平成元）年に改訂された学習指導要領で、小・中学校の社会科においてはじめて「博物館や郷土資料館等の活用を図る」ことが盛り込まれて以来、学校教育において博物館を利用していただく機会が増えています。博物館側も学校団体を積極的に受け入れており、先生方の指導案作成に役立つような学習プログラムを開発しています。2002（平成14）年には、「総合的な学習の時間」（総合学習）が新たに導入され、地域の調べ学習などでグループ訪問をされる機会が増えています。また、近年はキャリア教育の一環として、博物館での職場体験を希望される学校団体が増えています。

全国の博物館のうち、約76%が「小中学校、高等学校の受け入れ」を行い、公立博物館のほぼすべてが学校団体の受け入れを行っているのが現状です。

野外博物館・北海道開拓の村のごあんない

開拓の村の見学の申し込みは
北海道博物館の見学とは別に申し込みを行う必要があります

[お問い合わせ先・ご予約・ご連絡先]

北海道開拓の村
〒004-0006
札幌市厚別区厚別町小野幌50-1
電話／011-898-2692
FAX／011-898-2694

北海道開拓の村
ホームページ

北海道開拓の村は、明治から昭和初期にかけて建てられた北海道の歴史的建造物を移築復元・再現した野外博物館です。北海道博物館と開拓の村は、ともに野幌森林公園の中にあり、開拓の村は博物館から徒歩15分の場所にあります。博物館で展示されている開拓時代の道具が、実際にどのように使われていたのかを見ることができるため、人びとのくらしをより具体的に理解することができます。

両施設をセットで見学すると、学習効果をより高めることができます。

施設紹介

北海道開拓の村は、貴重な文化遺産を保存し、後世に伝えるとともに、開拓当時の人びとのくらしを体験的に理解してもらうことを目的として、1983（昭和58）年に開村しました。市街地、漁村、農村、山村の4つのエリアに52棟の歴史的建造物が軒を並べ、村全体が展示場になっています。夏には、「馬車鉄道」が市街のメインストリートを走り、冬には「馬そり」が村内を回ります。季節の移り変わりを知らせる村祭りや年中行事、農作業などの生活体験イベントを定期的に行っています。開拓の村での学習活動の内容としては、学習課題に合わせた概略説明を行う「オリエンテーション」、団体対応可能な制作体験「伝統玩具・わら細工づくり」、唐箕や石臼、洗濯板等を活用した「くらし体験」、昔の学校の教室で行う「昔の授業体験」などが対応できますので、ご希望の方は開拓の村までお問い合わせください。

2 総合展示室における学習活動

北海道博物館のメインとなる展示は総合展示です
展示全体のコンセプトは「北東アジアのなかの北海道」と「人と自然とのかかわり」です

総合展示は、1階と2階の合わせて3,000㎡の面積で展開されており、北海道の自然・歴史・文化を5つのテーマに分けて紹介しています。

第1テーマから順番に観覧すると、だいたい60～90分かかります。じっくり丁寧にご覧いただくと、約180分（約3時間）かかります。

順路は決まっておらず、どのテーマからでも見学をはじめられます。滞在時間や学習の目的によって、自由に見学コースを設定することもできます。

【見学モデルコース】

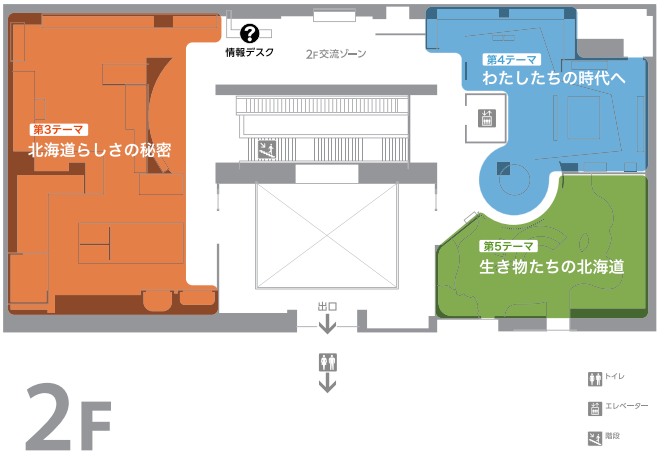
① 北海道博物館ハイライト（60分）
第1テーマから第5テーマまで、順番に総合展示室1階と2階を回ってください。北海道の自然・歴史・文化を幅広く学ぶことができます。

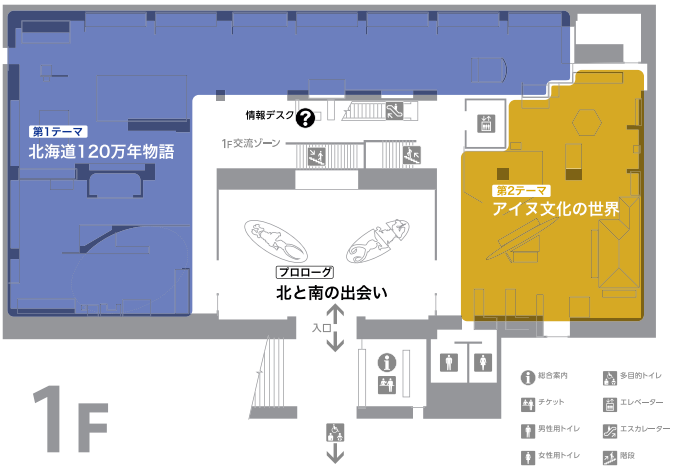
② 北海道の歴史とアイヌ文化を学ぶコース（40分）
見学時間に余裕がない場合は、1階の第1テーマと第2テーマをご見学ください。本州とは異なる北海道独自の歴史や、アイヌ文化について学ぶことができます。

③ 北海道開拓と人びとのくらしを学ぶコース（30分）
2階の第3テーマと第4テーマをご見学ください。雪や寒さをしのいだ冬のくらしや、農業・漁業・鉱工業・林業などの産業のあゆみ、開拓時代から戦中・戦後の人びとのくらしについて学ぶことができます。

④ 北海道の自然を学ぶコース（20分）
2階の第5テーマをご見学ください。北海道の生き物のつながりやヒトと自然の関係について学ぶことができます。

※3,000㎡は600㎡の体育館5つ、64㎡の教室47室分に相当します。





情報デスク

1階と2階にある「情報デスク」には、スタッフが常駐しています。何かわからないことがございましたら、気軽におたずねください。

プロローグ　北と南の出会い

総合展示室に入ると、北海道を中心とする北東アジアの衛星写真が床一面に広がります。その上に、ナウマンゾウとマンモスゾウの復元骨格が、北海道をはさんで向かい合うように展示されています。北海道の上に立ち、まわりを眺めてみたり、正面のスクリーンで映像を見るたりすると、北海道がどんなところなのかを知ることができます。

第１テーマ　北海道120万年物語

およそ120万年前から、開拓が本格的にはじまった19世紀おわりごろまでの北海道と、そこに生きた人びとのあゆみを紹介しています。北海道の大地の成り立ちから、旧石器文化、縄文文化、続縄文文化、擦文文化へと展開する人びとの文化、そして蝦夷地から北海道へと移り変わるころのアイヌ民族と和人の歴史や、開拓初期の歴史について学ぶことができます。

アイヌ民族の交易品が展示される「蝦夷地の産物コレクション」のコーナー

第２テーマ　アイヌ文化の世界

アイヌ民族は、北海道をはじめ、サハリン（樺太）、千島列島などを生活の舞台として、さまざまな文化を育んできました。このテーマでは、アイヌ民族の現在や、昔の住まいや衣服などの暮らしの道具、信仰と儀式、アイヌ語や物語・歌などの伝承されてきた文化、さらに近現代を生きるアイヌのすがたを学ぶことができます。

アイヌ民族の昔の家屋（復元）

第３テーマ　北海道らしさの秘密

北海道ならではの景色、海や大地の資源を活かし育ってきた数々のモノづくり、多雪寒冷な気候に適応しようと模索した生活スタイルなど、いまの北海道には〈らしさ〉がたくさんあります。このテーマでは、農業・漁業・鉱工業・林業といった産業や産物、人びとのくらしの歩みをたどることにより、北海道の魅力とアイデンティティを再発見することができます。

洋式農具（プラウ）による馬耕の様子

第４テーマ　わたしたちの時代へ

戦後の復興期を経て経済発展が進むなかで、北海道の産業や人びとのくらしは大きく変化しました。このテーマでは、20世紀のはじまりから現代までの、私たちが生きている「いま」と直接結びついている約100年の北海道のあゆみを紹介しています。昭和の戦争の時代や、高度経済成長期の人びとのくらしについて学ぶことができます。

高度経済成長期のさまざまな道具

第５テーマ　生き物たちの北海道

明治時代からわずか百数十年で、北海道の自然は急速に変えられました。このテーマでは、ヒグマやエゾシカ、サケなど、生き物の視点で北海道の自然を見つめ、生き物どうしのつながりを知り、ヒトと自然の関係について考えることができます。動物形のソファや、どんぐりとほかの生き物のつながりを実感できる装置「どんぐりコロコロ」など、子どもが楽しめる展示物もたくさんあります。

生き物たちのつながり（手前は、ヒグマのソファー）

3 より深く学ぶための教育プログラム 要予約

博物館を学校の授業で活用していただくために、当館では2種類の教育プログラムを用意しています。
どちらも事前予約が必要となります。
見学予定の日時とプログラムを決め、1週間前までにお電話にてご予約ください。

A はっけんプログラム（所要時間20分）

小学校、中学校などの学校団体を対象に、北海道の自然・歴史・文化を楽しく学んでもらうための体験型学習プログラムです。はっけん広場のスタッフ（解説員）が最初に説明や演示をし、そのあとに10分程度体験学習を行います。

会　　場：はっけん広場
定　　員：1回につき30～40名程度（1クラス単位）
所要時間：20分（＋展示場までの移動5分＋総合展示見学60分＝90分）
予約時間：平日（火～金曜日）の9:30～16:00まで30分単位（開始時間は毎時00分、30分）

はっけんプログラムのメニュー

① ヒグマ

ヒグマの毛皮にさわったり、頭骨やフンをじっくり観察したり、足跡シートで動物の歩き方を体験することで、ヒグマの生態や一年のくらしについて学習します。

【おもな補助教材】
ヒグマの頭骨（レプリカ）
ヒグマのフン
ヒグマの毛皮
ヒグマ足跡シート

② アンモナイト

ホンモノのアンモナイト化石にさわったり、観察したり、貝の化石やオウムガイなどと比較しながら、アンモナイトの殻のつくりや特徴、及び生態について学習します。

【おもな補助教材】
アンモナイト
オウムガイ
化石・現生の貝類

③ アイヌ文化

着物を着る、ムックリを鳴らす、狩猟の罠を使う、アイヌ語カードでアイヌ語にふれる、着物パズルで衣服の模様を観察する、といった体験を通して、アイヌ文化について学習します。

【おもな補助教材】
木綿衣、手甲、脚絆、鉢巻
ムックリ
仕掛け弓（わな）など
アイヌ語カード
着物パズル

④ 縄文文化のくらし

火おこしの道具で火種をつくったり、石斧で丸太を切ったりしながら、縄文文化の人びとのくらしについて学習します。

【おもな補助教材】
火おこし道具（弓切り式、舞切り式）
石斧と丸太

⑤ 昭和のくらし

天秤棒で水を運ぶ、洗濯板で洗う、風呂敷で包む、一升瓶で精米するといった体験を通して、昭和のはじめごろから現在までの人びとのくらしの移り変わりについて学習します。

【おもな補助教材】
洗濯板とたらい、電気洗濯機、羽釜、電気炊飯器、玄米の入った一升瓶と棒、風呂敷、買物かご、天秤棒、バケツ

⑥ はっけんキットを使ってみよう 【対象：保育園、幼稚園のみ】

はっけん広場に置いてある「はっけんキット」を自由に使って学ぶプログラムです。

B　グループレクチャー（所要時間25分）

総合展示の概要や、北海道の自然・歴史・文化などに関する各種のテーマについて、当館の学芸員がスライド（パソコン＋プロジェクター）を使いながら授業を行う学習プログラムです。

会　　場：講堂

定　　員：120名（机、イス付き）　通路にイスを出すことで、150名まで対応することも可能です。

所要時間：25分（＋展示場までの移動5分＋総合展示見学60分＝90分）

予約時間：9:30 ～ 16:00まで30分単位（開始時間は毎時00分、30分）

グループレクチャーのメニュー

メニュー	内　容
① 総合展示ダイジェスト	総合展示第1 ～ 5テーマの内容をダイジェストでお話しする授業です。総合展示を観覧する前にどんな展示なのかの概要を学ぶのに最適なメニューです。
② 北海道の生き物	北海道の動物、植物、昆虫などの生き物の概要や、自然環境とヒトとの関わりなどについてお話しする授業です。理科や生物の授業と組み合わせたり、総合展示第5テーマ「生き物たちの北海道」の内容をより深く理解するのに最適なメニューです。
③ 北海道の化石	北海道から見つかる恐竜やアンモナイト、ナウマンゾウ、マンモスゾウ、貝の化石などについてお話しする授業です。理科や地学の授業と組み合わせたり、総合展示第1テーマ「北海道120万年物語」の「1人類の時代へ」の内容をより深く理解するのに最適なメニューです。
④ アイヌ文化の世界	アイヌ民族の現在、伝統文化、ことば、近現代の歩みなどアイヌ文化について体系的にお話しする授業です。郷土学習の授業と組み合わせたり、総合展示第2テーマ「アイヌ文化の世界」の内容をより深く理解するのに最適なメニューです。
⑤ 北海道の歴史	北海道の旧石器文化、縄文文化、続縄文文化、擦文文化・オホーツク文化から中世・近世の蝦夷地のころ、そして明治の開拓使設置から大正、昭和の高度経済成長の時代まで、北海道の歴史のあゆみを概説する授業です。社会や日本史の授業と組み合わせたり、総合展示第1テーマ「北海道120万年物語」や第4テーマ「わたしたちの時代へ」の内容をより深く理解するのに最適なメニューです。
⑥ 北海道のくらし	明治以後本州から渡ってきた移住者のくらし、開拓期の人びとのくらしを彩る道具、厳しい寒さや雪にそなえ冬を過ごしやすくするための知恵や工夫などについてお話しする授業です。小学校社会科の「昔のくらし」に関する授業と組み合わせたり、総合展示第3テーマ「北海道らしさの秘密」や第4テーマ「わたしたちの時代へ」の内容をより深く理解するのに最適なメニューです。
⑦ 北海道の産業	農業、漁業、林業、鉱工業、交通・運輸業など明治以後の北海道の産業のあゆみについて体系的にお話しする授業です。小学校社会科の授業や総合展示第3テーマ「北海道らしさの秘密」や第4テーマ「わたしたちの時代へ」の内容をより深く理解するのに最適なメニューです。
⑧ 博物館・学芸員の仕事	博物館で働く学芸員の普段の仕事についてお話しする授業です。小学校の「総合的な学習の時間」、中学校・高等学校のキャリア教育（職場体験）、大学の博物館学・博物館実習等での利用に最適なメニューです。学芸員が事前に利用者側から送付された質問に答える形で対応したり、ディスカッション形式で対応することも可能です。
⑨ 北海道博物館のあらまし	北海道博物館の沿革、使命、基本理念、事業の内容、組織体制などについてお話しする授業です。博物館関係者や議員等の視察、各種研究会、大学の博物館学・博物館実習等での利用に最適なメニューです。
⑩ その他【要相談】	利用団体の要望に応じて、学芸員が専門的な内容のテーマでお話しする授業です。 ※実施にあたっては担当学芸員との綿密な打ち合わせが必要です。まずは希望するテーマと日時をお知らせください。

＊その日の予約状況によっては、ご希望に沿えない場合もあります。ご予約にあたっては、必ずお電話で予約状況をご確認ください。
＊同一時間帯に複数のテーマをいくつかのグループに分けて実施することはできません。
＊20名以上の団体については、2つのメニューまで予約することができます。

昼食場所としての講堂の利用（30分）

雨天時などの昼食場所として、講堂を利用することができます。ご希望の団体は必ず**事前にご予約**ください。
○定員：120名（机、イス付き）
○利用時間：1団体につき30分（9:30 ～ 16:00まで30分単位（開始時間は00分・30分））
○複数の団体に同時にご利用いただく場合もありますので、ご了承ください。
○展示を見学する団体を優先させていただくため、昼食場所の確保のみの予約は受け付けておりません。ただし、当日、講堂が空いている場合は使用することができます。
　※中2階（M2F）の休憩ラウンジでも昼食をとることができます（予約不要、当日先着順）。ただし、一般のお客さまもご利用されていますので、他のお客さまのご迷惑にならないようご配慮をお願いします。
○利用後は、次に利用される団体のために、机・イスの整頓や机の上をふいたり、ゴミを持ち帰るなどの清掃へのご協力をお願いします。

4 北海道博物館を利用した学習の流れ

1 下見・見学申込 → 2 事前学習 → 3 見学 → 事後学習

1 下見・見学申込

下見

北海道博物館では、学校団体の見学をより有意義なものとしていただくため、事前に下見をされることをおすすめしています。学校の先生や、学校団体から委託を受けた旅行会社の担当の方は、総合展示室やはっけん広場等の館内施設（有料の特別展示室をのぞく）を無料で自由に見学することができます。下見を希望される場合は、事前に011-898-0500（学校団体受付専用）までお問い合わせください。博物館の教育担当スタッフ（学芸員）と、個別に打ち合わせを行ったり、学習相談に対応することもできます。**【要予約】**

見学申込

まずは博物館での学習目的、実施日、来館時間、滞在時間、博物館までの交通手段、事前学習と事後学習の展開方法等を決めましょう。総合展示の見学のみを行うか、教育プログラムもセットで申し込むかも決めてください。

＊滞在時間は90分以上をおすすめします
　教育プログラムも申し込む場合は120分以上

学校団体の見学が集中する時期・時間帯

○学校団体の利用が集中する時期は、6月中旬から7月初旬、8月下旬から10 月中旬です。
○学校団体の利用が集中する時間帯は、開館から午前中までです。
○ゆっくり見学される場合には、お電話で他の学校の申し込み状況をご確認されることをおすすめします。

総合展示の利用料金

○小・中学校でのご利用
　引率の先生や添乗員（乗務員は除く）も含め、すべて無料

○高校でのご利用
　人数によって、総合展示室の入場料が必要になります。
　生徒：10名未満の場合は有料、10名以上の場合は無料
　引率者：生徒10名につき引率者1名が無料

展示見学のみ

展示見学＋その他の申込（・はっけんプログラム ・グループレクチャー ・昼食場所としての講堂の利用）

電話にてご相談ください
TEL 011-898-0500（学校団体受付専用）

見学届の提出「見学届（P.12の様式）」に必要事項を記入し、学校団体受付係までお送りください。

○FAX、もしくは郵送で見学の1週間前までにお送りください。
○校長先生からの依頼文などは必要ありません。

FAX　011-898-0590（学校団体受付専用）

郵送　〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2
　　北海道博物館　学校団体受付係

＊開拓の村の見学の申し込みは北海道博物館の見学とは別に行う必要があります
　〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌50-1　電話／011-898-2692　FAX／011-898-2694　URL／http://www.kaitaku.or.jp

2 事前学習

事前学習等に役立つ教材

児童・生徒にとって北海道博物館での学習が有意義なものとなるよう、学習計画を立てることをおすすめします。博物館を利用した学習のねらいや目的を明確にするため、ワークシートや見学のしおりなどを作成する際、また事前学習等を展開する際に役立つ教材をご紹介します。
※詳細は、北海道博物館のウェブサイト「学校でご利用のお客さまへ」のページをご覧ください。

学校でご利用のお客さまへ

○ワークシート「ちゃれんがワーク」

見学学習の際などに総合展示の学習を効果的に進めるためのワークシート「ちゃれんがワーク」を下記のとおり数種類作成しています（写真）。学習の目的にあわせて、PDFファイルをダウンロードしてお使いください。

ちゃれんがワーク

○教材作成用コンテンツ

見学学習や事前学習のためにワークシートなど教材を作成する際にご利用いただけるよう、展示資料などの画像の提供を行っています。学習の目的にあわせて、各種データをダウンロードしてお使いください。
※これらの画像やデータを「学校団体による見学学習」以外の目的で利用される場合、別途許可申請が必要です。

教材作成用コンテンツ

○体験用教材の貸出

北海道の自然・歴史・文化についての理解を深めてもらうため、学校の授業などで活用できる補助教材の貸出を行っています。
貸出には申請手続きが必要となりますので、詳細はウェブサイト「体験用教材の貸出」をご覧ください。

体験用教材の貸出

○総合展示の解説ボード

ウェブサイトでは、5つのテーマに沿って展示内容を紹介するとともに、展示の解説ボードがPDFファイルでダウンロードできるようになっています。

解説ボード

○ガイドブック

総合展示の内容を紹介したガイドブック『ビジュアル北海道博物館』（A4版120ページ）を用意しています。

※館内の「Museum Shop」でも販売しています。

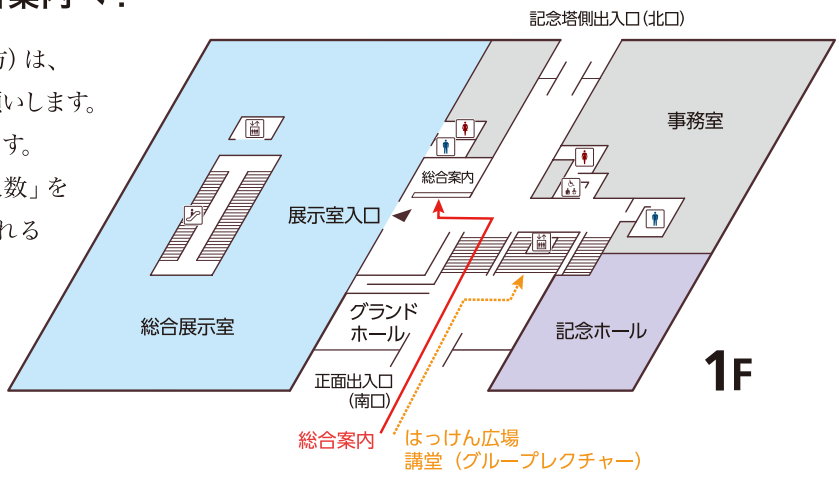
3 見学

北海道博物館へ到着したら、まず総合案内へ！

○当館に到着しましたら、担当の先生（または代理の方）は、まず「総合案内（チケットカウンター）」で受付をお願いします。「総合案内」は、正面の階段をのぼって左手にあります。

○総合案内の係の者へ、「学校名」と「当日の来館人数」をお知らせください。その際、リーフレットを希望される場合は、お渡しします。

○見学の際に、リュックサックなどの荷物のお預けを希望される場合は、受付時に総合案内へお申し付けください。



さあ入場です

受付が終わり、全員集まりましたら、順次、中へお入りください。

◎ まず「グループレクチャー」を予約されている場合は、講堂へ（都合によって会場が異なる場合もあります）。

◎ まず「はっけんプログラム」を予約されている場合は、はっけん広場へ。

◎ それ以外の場合は、総合展示室へどうぞ。
入場に先立って、先生もしくは添乗員の方から児童・生徒へ見学マナーについてお伝えください。

貸切バスでご来館される場合のバスの乗降について

○当館の入口横にバスを止めて乗降できます。

○降車後、バスは「百年記念塔前駐車場（公園案内所側駐車場）」へ移動してください。

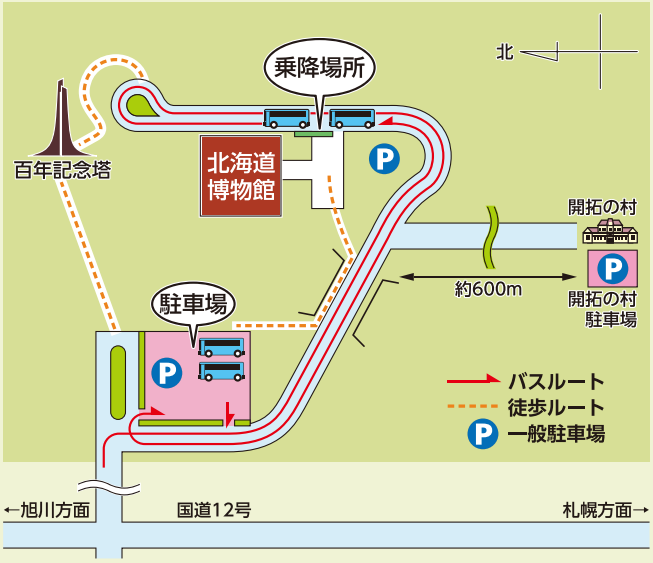
○見学終了後、再び当館の入口横にバスを止めてご乗車ください。

○当館横の道路はバス路線になっています。路線バスの到着時刻（→下表）には、停車・乗降はできませんので、係員の指示に従って移動してください。

時	分
8	38
9	29　47
10	14　32　44
11	02　14　32　44
12	02　14　32　44
13	02　14　32　44
14	02　14　32　44
15	02　14　32
16	02　32
17	12　42

路線バス（ジェイアールバス）の「北海道博物館」停留所到着時刻
※平日・土日祝同じ

貸切バス駐車場について



○貸切バスなどの駐車場は「百年記念塔前駐車場」となります。

○「百年記念塔前駐車場」から当館までは歩いて10分程度かかります。

○駐車料金は無料です。

○北海道開拓の村前にある「開拓の村駐車場」から当館までは、徒歩で15分程度の距離があります。お間違えのないようにご注意ください。

見学を指導するにあたって

博物館には、一般のお客さまも大勢来館されています。そのため、他のお客さまに迷惑をかけることのないよう、児童・生徒へのご指導をお願いします。その他、以下の点にご注意ください。

1 スナップ写真は、撮影自由です。ただしフラッシュや三脚を用いての撮影は、他のお客さまのご迷惑となりますので禁止とさせていただきます。

2 集合時間、集合場所の周知をお願いします。（呼び出しの放送は、原則として行っていません。）

3 資料保護のため、展示室内で使える文房具は**えんぴつ**だけです。（マジック、ボールペン、シャープペンは使えません。えんぴつをお持ちでない児童・生徒には情報デスクで貸し出ししています。）

4 第5テーマ「生き物たちの北海道」にある「どんぐりコロコロ」は、子どもたちに大人気の展示教材ですが、学校団体の児童・生徒が全員利用されると、他のお客さまがご利用できなくなるため、先生が見本を示す形で、お使いくださいますようお願いします。

5 クイズにこたえてスタンプを集める「ちゃれんがラリー」は、子ども（中学生以下）を対象としたイベントですが、学校団体としてご来館される場合には参加することができません。

学校の先生方へのおねがい

総合展示室内での注意事項

よりよいサービスを提供するために

北海道博物館では、学校団体による利用を促進し、よりよい学習プログラムやサービスを提供させていただくため、学校の先生方に以下の三点についてご協力をお願いしています。

① 先生方が作成された「見学のしおり（ワークシート）」を送ってください！

学校で制作された「見学のしおり」「手引き」等を収集しています。制作物がある場合は、1部をご来館時にお持ちいただくか、郵送していただけると大変参考になります。ご協力をお願いします。

② 先生方の意見・要望をお寄せください！

次年度以降のサービス向上、新たなプログラム開発の参考のため、アンケートを実施しています。ご来館時にお渡ししますので、FAXや郵送等でお送りいただけると大変参考になります。ご協力をお願いします。

③ 教育プログラム研修会への参加

夏休みなどに、学校教職員対象の「博物館教育プログラム研修会」を北海道開拓の村と合同で開催しています。両施設の活用事例、展示室での学習方法、見学のしおり（ワークシート）作成のポイント、体験型メニュー（はっけんプログラム）の実演などを内容とする研修会です。たくさんの先生方のご参加をお待ちしています。
※詳細はウェブサイトでお知らせします。

北海道博物館見学届（学校団体等）

■学校等　　提出日　　年　　月　　日

学校名 （団体名）	学年　　年生
所在地　（〒　　ー　　）	電話番号
	FAX番号

■見学日時等

見学日	年　月　日　曜日		引率の先生 （代表者）			
見学時間	到着予定時刻	出発予定時刻	見学人数			
			引率の先生	児童・生徒	合計	クラス数
	時　分	時　分	名	名	名	
□ 雨天時のみ（あてはまる場合、✓してください）						

■見学内容（あてはまるものに✓をつけ、必要事項を記入してください）

□ 総合展示室を見学する	□ 特別展示室を見学する　※開催中のみ

以下のA～Cは、**事前予約が必要**です。あらかじめ電話でご相談の上、決定した内容をお書きください。

□ A　はっけんプログラム	クラス数	時　分　～　時　分
	メニュー	
□ B　グループレクチャー	回数　回	時　分　～　時　分
	メニュー	
□ C　昼食場所としての講堂の利用　（□ 雨天時のみの利用）		時　分　～　時　分
その他		

■旅行会社等

会社名	所在地
ご担当者名	電話番号

■連絡先

〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2
北海道博物館　学校団体受付係
電話／011-898-0500（学校団体受付・行事申込専用）

FAX　011-898-0590
（学校団体受付専用）